

当面の日程

- 3日 公共民間協介護部会・介護労働者交流会
(あすてっぷ KOBE)
- 4日 働く女性の交流集会 (ひょうご共済会館)
- 7日 現業・公企統一闘争勝利！県本部総決起集会
(のじぎく会館)
- 12日 県本部第77回定期大会 (ラッセホール)

自治ひょうご



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1704号

2026. 10. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長／北池 宏光・編集人／荒西 正和

組合員の声を力に職場改善、組織拡大

単組に伴走する産別運動を

自治労第100回大会 全ての議案を可決

自治労第100回定期大会が8月26・27日、さいたま市・大宮ソニックスシティで開かれた。代議員665人が参加し、運動の総括や当面の闘争方針などについて討論した。産別体制・財政の構造改革を中心に持続的な組織づくりなどについて活発な討論が行われ、全ての議案は賛成多数で可決された。

開会にあたり石上千博中
央執行委員長は、人事院勧

告、公共サービスの処遇改善、政治活動などにふれ、「組合員の声を力に職場改善と組織拡大をはかり、持続的な組織づくりを進めよう」と呼びかけた。

また、大会ではこの1年間の新規加盟単組(11県本部12単組)の承認・紹介があった。

組織強化の取り組みを中心に人勧や政治情勢など多岐にわたる発言が行われた。特に構造改革をめぐる多くの代議員から発言があり、持続可能な組織づくりを進めながら単組に伴走する組織運動の強化が議論された。採決の結果、全ての議案が圧倒的多数で可決された。

第3号議案では鬼木誠参

議院議員を組織内議員として擁立することを確認した。

県本部は9月3日、県人事委員会に申し入れを行った。尾西亮太郎委員長のあ

再任用の処遇改善など 県人事委へ12項目申し入れ

この視点から、本部として総務省対策、国会対策をさらに強化していただくことを強く要請した。

最後に、尾西委員長は兵庫県の起債許可団体転落の職員賃金への影響について意見を述べた。

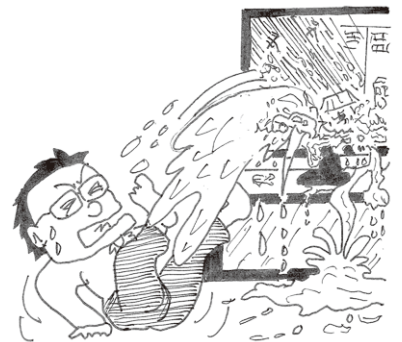
しこう

以前、市の幹部からパワハラを受けたことがある。腹も立ったし、納得もできなかった。でも、「もうええわ。めんどくさいし、ほっとこ」と思った。大ごとにするのも嫌だったし、自分我慢すれば済むことだとも思った▼ところが、そう簡単には終わらない。時間が経っても、ずっと心のどこかにもやもやが残った。そのとき改めて気づいた。人は、自分のことになると案外たかえな。理不尽だと分かっているのに、「これくらい我慢すれば」「波風を立てたくない」と、自分を納得させてしまう。だから、労働組合が必要なのだ▼1人では声を上げられないとき、隣に立つ人がいる。「おかしい」と一緒にいつてくれる仲間がいる。自分のためにはたかえなくても、誰かのためならたかえる。その誰かが次は誰かを支える。労働組合とは、そんな支え合いの仕組みなのだと思ふ。

いまいち座

一茶一坐 (一茶一坐)

大雨! もうたくさんだ!



吉田ノボ

10月16日が統一行動日

現業公企第2次闘争に結集しよう

26現業・公企第2次闘争は、10月16日を統一行動日として、第1次闘争(6月)の積み残し課題を含め、労働条件・環境の改善を重点

「自治体現場力を推進し、闘争として進めるにあたり、第2次闘争では、「直

営堅持」「欠員の正規職員による完全補充をめざす。現業職場では、10年以上新規採用が行われていない単組も多く、閉塞感が強まっている。公企職場では、職員の高齢化が進み、技術力の継承が困難になっている。新規採用による欠員補充は最重要課題である。

現業公企闘争委員会は、10月2日に県と交渉を行い、単組交渉と連動して取り組む。10月7日には、県本部総決起集会をのじぎく会館で行い、統一行動日に向けた意思統一をはかる。全単組が現業・公企闘争に結集しよう。



あいさつを行う石上委員長



発言する森副委員長

地域医療どう守るのか

大会では、森哲二代議員(県本部副委員長)が兵庫における公立病院の統合・

再編、運営形態の変更をめぐる取り組みについて発言。高砂市民病院のたたか

指定管理者制度は、本来「公の施設の管理運営」のための制度であり、地域住民の命を守り、不採算であつても必要な政策医療を担う公立病院に、この制度を安易に導入することには大きな問題があることは明らか。経営形態の変更ありきではなく、まず地域医療をどう守るのか。そして、そこで働く職員の雇用と労働

自治労兵庫 県本部 LINEで いいこといっぱい! 30% OFF

登録するだけで応募完了!カンタン! Amazonギフト券が当たる!

友だち登録キャンペーン! 2026年4月1日(水) - 12月31日(木)

Amazonギフト券1,000円分を毎月5名様にプレゼント!

友だち追加・キャンペーン参加はこちらから!



総会後のレクには家族も含めて参加した

公共サービス民間協議会は、9月5日に第26回総会を神戸市ホテルフルーツで開催した。

公共民間協議会 粘り強く賃上げ実現

最初に、今年8月に亡くなられた、津村崇夫前事務局長（みのり労組）への黙とうをさげた後に、大野敏隆議長は、「津村さんの遺志を引き継ぎ、辛抱強く結果を取り組みを強化しよう」とあいさつした。方針では、荻田洋介事務局長が、幹事会や学習会を継続し、ウェブを活用しての組合員への学習機会を確保するなどの取り組みを提起した。

単組報告では、尼崎社協労組がユニスを未加入者も含め全体に配布し、リーガルマインドを向上させる取り組み。兵庫県公園職組は、半年間にわたる粘り強い取り組みから最低賃金+40円アップと地域手当改善などの成果を報告した。

50歳代後半の賃金改善を 労働学校実践編 模擬交渉を実施



模擬交渉の様子

「交渉の進め方とポイント」の講座は、教宣委員会が作成した動画を視聴。職場オルグから要求づくり、事務折衝の意味や労使交渉における妥結を学んだ。

模擬交渉は、グループを単組に見立て、委員長、書記長など任務分担し、要求書づくり。当局回答を受けた後交渉を行った。

Aグループは、定年延長に伴い50歳代後半の賃金抑制を正す、Bグループは会計年度任用職員の雇用問題や正規化を要求にあげた。

「制度上、高齢者職員の昇給はできない」「会計年度の正規枠は研究する」といった当局回答を執行部が力をあわせて追及した。

交渉後は、戎剛副委員長が「当局にで

県本部は9月8日、労働学校実践編を行い、「要求・交渉・妥結」の交渉サイクルを学習した。

開会あいさつに立った森哲二副委員長は、「労働組合は働く者のセーフティネットといわれるが、それをつくるのは私たち。労働学校を通して、そうしたことも考えて欲しい」と述べた。

「交渉の進め方とポイント」の講座は、教宣委員会が作成した動画を視聴。職場オルグから要求づくり、事務折衝の意味や労使交渉における妥結を学んだ。

模擬交渉は、グループを単組に見立て、委員長、書記長など任務分担し、要求書づくり。当局回答を受けた後交渉を行った。

Aグループは、定年延長に伴い50歳代後半の賃金抑制を正す、Bグループは会計年度任用職員の雇用問題や正規化を要求にあげた。

「制度上、高齢者職員の昇給はできない」「会計年度の正規枠は研究する」といった当局回答を執行部が力をあわせて追及した。

交渉後は、戎剛副委員長が「当局にで

県内では1978年
以来の開催

大会記念タオルや近畿の名産品が販売された開会式は、お土産を買い求める参加者が賑わいを見せ、兵庫が用意した大会ロゴ入りオリジナル洋菓子セット2種は、大会期間中に完売した。

9月12〜14日、近畿地連開催の第34回全日本自治体職員等野球選手権全国優勝大会が開催された。

熱戦の全国大会、兵庫・大阪で開催 近畿2府4県の名産品も好評



兵庫の各球場でも熱戦が繰り広げられた

大阪の大阪シティ信用金庫スタジアム、久宝寺緑地野球場と、兵庫のベイコム野球場、橘公園野球場で行われた試合で出たホームランは合計16本。各会場で名勝負が続出した。

高崎市職労と太田市職労の群馬県勢対決となった決勝戦では、4対1で高崎が5度目の優勝を果たした。

兵庫会場では、県本部衛生医療評や青年部、女性部の他、神戸交通労組、尼崎市職労、西宮水労、伊丹交通労組、宝塚市職労の動員協力を受け、大会運営は滞りなく行われた。

兵庫県本部
HYOGO PREFECTURAL HEADQUARTERS

教宣動画

要求・交渉・妥結

を進めるために

教宣動画を
単組でも
活用下さい



各単組の名産を持ち寄って交流

評議会の活動紹介 社福評

社会福祉評議会とは、保育・介護・障害福祉・生活保護など福祉現場の声を結集し、労働条件の改善と福祉制度の充実をめざすとともに、学習活動や交流を通じて組織の強化を進めている。

方針として、各職域の部会体制の充実をはじめ、保育・介護福祉職場で働く会計年度任用職員の処遇改善と組織化を重点課題としている。また、保育士や介護職員の人材確保、適正な職員配置、働き続けられる職場環境の整備、学童保育や児童相談体制の充実などを求め、各職場や関係評議会との連携を強化し、学習会や集会を通じて現場の課題を共有しながら、制度改善につなげる運動を展開している。

活動の一環として、保育部会は6月に「保育を考えるつどい」を開催した。分科会では、ICT化や少子化への対応、組合活動、正規・非正規職員の働き方、食育、人権保育などについて活発な意見交換を行った。

一方で福祉部会については、コロナ禍以降の活動が停滞して

6月に保育の交流会、福祉は再建が課題

社会福祉に携わる職場や仲間とのネットワークを広げながら、活動の再構築を進めていくことが求められている。

社会福祉の仕事は介護や社協、調理・用務など多岐にわたるため、それぞれの職場や職種に関わる評議会との連携を深め、社会福祉に関わる仲間の輪を広げていかなければならない。

これまでの活動で培った経験とネットワークを次の世代へ引き継ぎ、保育・介護・福祉の現場で働く仲間が力を合わせ、職場の課題を改善につなげる活動をさらに前進させていく。



保育を考えるつどいでグループワーク

もしもが起きるその前に…備えて安心! 住まいと家財のための 自然災害共済

「自然災害共済」は、「火災共済」に付帯して利用できます。
賃貸住宅にお住まいの方も、大切な家財のためにご利用ください。

不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください

くみん共済（全労済）
全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済 推進本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合

契約にあたってはパンフレットをご覧ください

住みいる共済
火災共済・自然災害共済
風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

「くみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地（先）の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。